

岩石山の山頂にある国見岩には梵字が刻まれています。ここが九州最大の修験道場・英彦山の領域であったことがうかがえます。

付録MAP D



山伏たちの加持祈禱の場といわれる岩石不動明王

付録MAP A

# その名は「岩石山」

がんじやくさん

平清盛が城を築き、  
地方豪族たちが奪い合い、  
天下の秀吉に攻められ、  
剣豪・佐々木小次郎の  
出生地と噂される山……



岩石山は福岡県添田町の北端、東側の赤村と接する標高454mの山です。かつては英彦山信仰圏の領域で、山伏たちの修行場として栄えた山でした。また山頂には中世の山城・岩石城が築かれ、一國一城令で廃城になるまで、多くの城主が入れ替わりました。麓には城下町も形成され、日田道(旧小倉街道)沿いには、白壁の商家・中島家住宅(国指定重要文化財)などの街並みがあり、歴史的に見ても価値の高い地域とされています。

添田公園から岩石山にかけては、毎日のように周辺の自然散策に出かける常連も少なくありません。登山道もよく整備され、山頂には岩石城跡の遺構や巨石群、そしてなにより山頂からの眺望の良さと四季折々の自然景観で、訪れる人を魅了しています。添田公園から山頂まで歩いて1時間ほどで登れる手軽さと見どころの多い山として一度登ればまた何度もも来なくなる魅力あふれる山なのです。